

あしたかの ニュース



No. 248 / 2025年
3月

編集
発行



愛鷹地区コミュニティ推進委員会
TEL 055-966-5301 (愛鷹地区センター)

新愛鷹地区センター 完成イメージ



新地区センター
建設委員会だより⑤

新しい地区センターの設
計がついにまとまりました。
これまで、建設委員会は市
役所の担当者や設計者と何
度も協議を重ね、地域の皆
様が利用しやすい施設にな
るように尽力してきました。
新地区センターの外観は、
愛鷹山をイメージした大き
な屋根が特徴で、屋内は地
域交流の場としての機能を
持ち、誰もが快適に過ごせ
る空間が広がっています。

また環境にも配慮した設
計が取り入れられており、
今後の地域の発展に大きな
役割を果たすことを確信し
ています。完成後を想定し
た利用の仕方や運営方法に
ついて、皆様と意見交換を
行つてより良い施設作りを
目指していきます。

完成を心待ちにしてい
ただき、地域の皆様と共に新
しい地区センターを育てて
いきたいと考えています。

(新地区センター建設委員会
委員長 長倉正志)

目次

- 交通安全風づくり教室 P2
集会所開放日
中尾神明宮年間行事
- 秋葉講祭典 P3
元旦祭
どんど焼き
- 二十歳の集い P4・5
- 沼津市シニアソフトボール大会 P6
愛鷹地区バレーボール大会
ポイ捨て撲滅
あしたかの交通指導員
- ふれあい P7
- 方面隊の元旦歩こう会 P8
星を観る会
かさもりさん



現地区センター 旧館解体工事始まる 1月14日

交通安全風づくり教室

11月16日(土)、地区センターにて毎年恒例の風づくり教室が行われました。幼児や小学生を連れた家族など13名が参加。「一緒に楽しくつくりましょう」との開会挨拶で始まり、交通安全協会の安全講話はモニターを使って、子供たちが楽しく学べるようにクイズ形式で進めていきました。道路での飛び出しの危険性などについて話していくと子供たちの反応も良く、講義の終わりには、道路交通法改正についての話もありました。



続いて、風づくり。講師の向坂さんから、平成元年頃から交通事故防止を願って、風づくり教室が始まったとの話を交え、愛鷹地区交通安全会や指導員の皆さんも一緒に風づくり。竹ひごと和紙を使っての細かい作業に熱心に取り組んでいました。

令和7年の干支のへびや定番の夕コノ絵に、交通安全の文字を加えるなどそれぞれ工夫を凝らして仕上げていました。飛ばし方や糸の張り方を教わり終了。

「父親が子供の頃に参加したと聞いてびっくりした」「難しかったところは手伝ってもらったけど、できあがってうれしい」などの感想を聞きました。(鈴木)

集会所開放日 大久望町 12月11日(水)

町内の人々がだれでも参加して娯楽や会話を楽しむよう、月に一回集会所を開放していましたが、コロナ禍で中止となり4年ぶりに開かれました。

前半は「ちよつくら体操」を行い、椅子に掛けて指先やつま先、腿裏、背中の上トレッチをしました。普段使うのとは違う筋肉を伸ば

したので、心地よい感じになりました。後半はお手玉を

使つての的当てゲーム等で、無理なく楽しく体を動かすことができました。

自治会長も参加し「今回は少々で少人数だったが、まずは再開できたのが嬉しい。次につなげて、以前の様な賑わいになって欲しい」と感想を言われていました。寒い季節は外に出る機会が少なくなりがち。今回の



心も体もリフレッシュ!

体操やゲームを家の中で行つて、体の緊張をほぐすのもよいかもしれません。(目時)

中尾神明宮 年間行事

毎年行われている「元旦祭」「お伊勢さん」「秋の祭典」は、どれも地域の人々にとつて欠かせない大切な行事です。

町内の人達が協力し、祭りの準備や運営などは五つの組が1年ごとの持ち回りで中心となつて行い、さらに毎月1日と15日には神様にお供え物を捧げ、境内の清掃もしています。



1月は、新年を迎える行事として「元旦祭」が執り行われ、1年の始まりを祝い、家内安全や無病息災などを祈願します。

9月に行われる「お伊勢さん」では、ご利益を求める人々が厄払いや健康など

をお願いします。

10月には、秋の訪れを感じさせてくれる「秋の祭典」が開催され、神々に収穫への感謝をするとも到来年の豊作や地域の繁栄を祈ります。

この祭典が終わると当番町が変わり、中尾神明宮は地域の人々にとって神聖な場所として大切にされていることがうかがえます。今後も地域の行事が守られて次の世代に引き継がれ、人と人との絆が深まって行くことを願っています。(伊藤)

秋葉講祭典 柳沢
12月8日(日)

現在は廃れてしまいましたが、以前大龍寺というお寺が建っていたその奥に、小さな祠が在ります。秋葉さんと呼ばれ、火の神様を祭る秋葉講という神事が昔から12月に行われています。早朝6時半、まだ暗く寒さも深まっている中、組ごとに回っている当番町が祠への飾りつけやお供えをして『秋葉山大権現』と書かれた幟を参道の入口に立てました。幟用の支柱は長く



て重いので、とても大がかりな作業でした。

急な参道を上り竹林に囲まれた祠の前に、当番町をはじめ自治会三役や各組長などの役員と神社総代の約25名が参列して、神事は厳粛に執り行われました。

深くお辞儀をして火の神様への敬意を表すとともに、地区内の安全と火の安全を祈願し、あらためて防災意

識を高めました。神事が終わる頃には朝日が昇り始め、柔らかな光がさしてきました。(小野直)



元旦祭 鳥谷

1月2日(木)

天照皇大神宮を祀る熊野神社に、氏子総代や当番組員など総勢約50名が集まり、午前10時神主さまの進行により、厳粛な雰囲気の中、執り行われました。

地区の安全や家内安全、五穀豊穡を祈願し、1時間ほどで終了しました。



式典後は、新年の挨拶やお互いの近況などの雑談に花を咲かせて、皆さんとても和やかでした。毎年参列して、今年こそは・・・と新たな気持ちを持ちつつ一年を過ごしております。

区民の方々の幸多からんこと、健康でありますことをお祈り申し上げます。(川口)

どんど焼き 青野

1月12日(日)

子供会主催のどんど焼きが行われました。前日のおんべ作りは、朝8時に子供会の親子と有志が集まり、大人がお神酒で安全祈願をしてから作業に入りました。数名はおんべの心柱になる大きな竹を切り出しに行き、田んぼに運びます。残った大人と子供はお飾りを縄に通したり、しめ縄をつなぎ合わせたりのを教わりながら丁寧に作っていました。



事前に用意されていた短い竹でやぐらを組み、茅とお飾りとつないだしめ縄が巻かれました。仕上げに高学年が書いた垂れ幕もまとい、恰好の良いおんべが出来上がりました。

当日の早朝6時前、まだ暗いなかたいまつを持った高学年により点火式が行われます。合図の青野桃澤神社の太鼓の音を心静かに待っている子供達の顔には、たいまつのみかりで緊張の面持ちが伺えました。

おんべは見る見るうちに燃え上がり、書き損じた書初めは炎の勢いで宙を舞い、無病息災や豊作祈願、家内安全など年神様への願いを見た感じがしました。

28分回の団員さんには最後まで見守っていただき、有難うございました。(望月)



令和7年愛鷹地区

二十歳の集い

1月12日(日) 愛鷹中学校体育館

風もなく穏やかな天候に恵まれた「二十歳の集い」は、121名が出席して行われました。出席率は市の集計では、トップでした。

式典では、連合会長や恩師の祝辞を聞いた後、かけつけてくれた小中学校時代の恩師の紹介に懐かしそうな表情がうかがえました。

代表が記念品を受け取り「二十歳の宣言」を述べ、参加者全員で沼津市民憲章を唱和して無事に閉式を迎えました。

式典後、愛鷹太鼓保存会による太鼓の演奏には、二十歳の方々も参加して、華やかな門出に花を添えていました。

今回、愛鷹中学生8名が受付や会場案内などで先輩方の晴れの日の行事に参加していました。



第45回沼津市
シニアソフトボール大会

11月17日(日)、大岡市民運動場と大岡南小グラウンドにて沼津市シニアソフトボール大会が開催されました。本大会は、健康増進と地域の交流を促進することを目的とした小学校区対抗による、学年齢50歳以上の大会です。参加12チームを4ブロックに分けて、1チームにつき2試合ずつ試合を行いました。

わが愛鷹小学校区チームは第五小学校区との初戦を12対4で白星を挙げましたが、次戦の沢田小学校区戦では打線が湿り2対7と黒星、最終的に同ブロック3チームが全て1勝1敗で並び、得失点差僅か1点の違いで優勝は逃しましたが、見事準優勝となりました。次回の大会でも、選手の皆さんのハッスルプレーを楽しみにしています。

(植松・田中)



第67回
愛鷹地区バレーボール大会

11月24日(日)、小学校体育館にて愛鷹地区バレーボール大会は8時45分に試合開始となりました。前年同様、近年定着しつつある4人制男女混合ソフトバレーで、チームSHIBA、松見台、東原、東原ニュータウン、青野(2)、PTA(3)の9チームの参加がありました。年齢制限を学年齢15歳からにしたことで多くの中学生も参加しました。

2ヶ月前からの夜の合同練習では毎回40人以上の選手達が、3コートを使い1ゲームずつ対戦相手を変えながら白熱した練習を6回重ねてきました。



予選は9チームをA・B・Cのコートに分け各コートごとに3チームが総当たりで順位を決めます。

各コートの1位チーム同士の戦いとなった決勝リーグでは、いずれも大接戦となり、選手たちの好プレーに拍手や掛け声で観客も盛り上がりました。その結果、チームSHIBAの2連覇となりました。



昼食後には、1つのコートを使いサブコート当ゲートをしたり、表彰式前にはじゃんけんゲームなどのレクリエーションをしたりしながら選手達はこちらでも盛り上がりつつありました。来年度もより一層楽しい大会にしたいと思います。

(望月)

試合結果

- ・優勝 SHIBA
- ・準優勝 青野B
- ・3位 東原ニュータウン

ポイ捨て撲滅

愛鷹地区環境美化指導員は、鈴木利正委員長を中心に総勢17名が3グループに分かれて、毎月第二土曜日に市職員の方々と不法投棄等ゴミの回収活動を行っています。

山道及び脇道等には未だ数多くの不法投棄があり、苦勞をしています。

今後も環境美化の推進及び啓発を行い、ポイ捨て等に関して一人でも多くの皆



様に関心をもってもらいたいと思います。そして、皆の力でまちの美化につなげていってほしいと願っています。

(川口)

あしたかの

交通指導員

沼津市から委嘱された市交通指導員31名のうち、愛鷹地区からは4名が活動しています。

任務として、交通安全指導および交通事故防止を期するため、通学児の安全保護、一般歩行者の交通指導、地域住民、車両運転者に対する交通安全思想の啓発等を中心とした活動をしています。

本年も地域における交通安全活動を支え、沼津市の交通事故が無くなるよう、交通指導員として交通安全に貢献していきたいと考えています。

(羽切)



益田さん



和田さん



羽切さん



川合さん

支え合う人と人 地域で育む思いやりの心・福祉の心

No. **71**

2025年(令和7年)
3月1日 発行
愛鷹地区
社協だより

ふれあい

あしたか健康介護講座 「悩む人への寄り添い方講座」

沼津市は「誰も自殺に追い込まれることのない街(ぬまづ)の実現を目指す」の基本理念のもと、ゲートキーパー(自殺対策を支える人材)育成を目的に、平成30年から毎年各地区で地域住民を対象に研修講座を開催しており、今回愛鷹地区での開催となりました。12月11日(水)の地区社協企画委員会定例会で、福祉委員を対象に表題の講座を行いました。

最初に市健康づくり課より、最近の状況の説明があり、平成20年以降、自殺者は減少傾向でしたが、コロナ禍で微増傾向となり、現在でも交通事故死亡者の約3倍となっています。沼津市では人口当たりの割合で、全国平均よりもやや多い傾向にある様です。市では今回の一般市民向けの他に、様々な職種で相談・支援等を行う団体や専門職を対象とする研修も行っているとのことでした。

続いて、NPO法人「臨床心理オフィスBeサポート」の加藤好子氏による講義が行われました。以下、概略をお伝えします。

ストレスや問題を抱えているなど不安が引きこもり、孤独感から、鬱などの心の反応や体調不良・不眠などの身体反応の悪循環に陥り、絶望・あきらめに至る原因となります。

このことから、家族や地域の支え合いや関わり合いが大切なことと考えられます。

また心の不調を抱えた人に早く気づいて、声を掛けることが大切です。特に、独り暮らしや最近環境が大きく変わったような人に気を掛けて欲しいと思います。

「コロナ禍以降の微増は、行事の自粛などによる地域の関わりが薄れていることが影響していると考えられます。」

身近で心配な人に気が付いたら、声を掛けて欲しいです。あまり話したくないのが普通なので、最初はあいさつや何気ない会話で十分です。体調や睡眠を気遣う言葉が受け入れやすく安心感を与えて話しやすい雰囲気となります。

話を聴くためのポイントは、とにかく「聴くこと」に徹すること。そして、あいづちを打つ、相手の言葉や思いをありのまま聴く、「でも」「だって」など相手の話をささぎる言葉は使わない、ゆっくり話すなどが大切です。

孤独感や不安感を持った人が、地域や人と関わることで、「安心感の雲」に包まれ、心と体の反応の良い循環となることが救われることになることを考えられます。

ふれあい 夢コンサート

「ミスターひばり」こと、石野悦郎さんのコンサートが、12月7日(土)、老若男女たくさんの観客の中、地区センター大会議室にて行われました。美空ひばりさんメドレーにジブリ映画の曲や娘さんの子供のころの思い出話などを織り交せて、集まった皆さんとひと時を楽しく交流しました。

石野さんは、現在も本業の傍ら施設慰問などでたくさん歌っているそうです。夢コンサートへの出演は、6年ぶりですが、相変わらず素晴らしい歌声を出せ歌えることに感動しました。



方面隊の 「元日歩こう会」

愛鷹方面隊は火事場に行き、消火活動や交通整理をする以外にも地域の祭りや行事へ積極的に参加しています。新年を迎え最初の活動が「元日歩こう会」です。

早朝、まだ暗い時間にそれぞれの地区から赤野観音を目指し歩いて来られる人たちの為に用意された焚火。その焚火が延焼しないようにと警戒したり、万が一に備えて近い水利にポンプ車をとめたりなどしています。今年も、約400人が境内に集まり、天候に恵まれて昨年以上の素晴らしいご来光に皆さん感動していました。



ダルマなど当たる抽選会が行われ散会となった境内で、焚火の残り火の後片付けをして新年初の活動は終わりました。(二見)



★ 星を観る会 ★ 2月1日(土)

17時。会の始まる頃はあいにくの曇り空で、野外での観祭はできませんでした。家族連れなど20名ほどの参加者は、はじめに地区センター大会議室で、講師の水本さんから、天文現象について教えてもらいました。さらに流星群や土星の環、皆既月食など、今年の見どころが分かりました。次いで、動画を中心に、土星の環と皆既月食について

詳しい説明がありました。参加の子供たちはもとより、親御さんたちも熱心に聞いていました。

その後、恒例のクイズ。今回は4問です。子供たちは元気よく手を挙げて答えていました。子供たちは全員抽選をして、宇宙船に持っていく缶詰などを当て、とても嬉しそうでした。

最後に、星座早見盤工作セットの使い方などを教えてもらい、参加賞のノートを手にとり、宇宙への思いを新たにしようという帰路についていました。(鈴木)



天体望遠鏡 プレゼント!

鳥谷の梅尾さん寄贈の望遠鏡を抽選で1名に。
★締切 3月31日
★抽選 4月末頃
直接当選者に引き渡し
※申込用紙は地区センターにあります

かさもりさん 2月2日(日)

鳥谷の倉守稲荷祭典が、午前8時より花火の合図と共に雨天の中開催されました。無病息災を願い数多くの人が、稲荷大明神ののぼり旗を奉納しつつ参拝に訪れました。

古来より瘡蓋等に御利益があるとされている当神社は毎年二月初午の日に祭典を当番組の皆様にて執り行われていきます。以前は屋台が立ち並び大変賑やかでしたが、近年は様々な事情により出店は見合わせております。

江戸時代より郷土に根づく風習はこれからも大切に守り継続していつてほしいと思います。(川口)



募金にご協力ありがとうございました

◎愛鷹「ミニミニ」では「被災地への義援金として役立て」と10万円を市長に手渡します

令和六年度 三月号
あしたかニュース編集委員

- 鈴木 正伸 (編集委員長)
- 石井いづみ (副委員長)
- 江本 文子 ()

【四班編集委員】

- 羽切 春男 (小屋敷)
- 伊藤 勤 (中尾)
- 目時 浩 (大久望町)
- 川口 満 (鳥谷・環境美化)

【ふれあい編集委員】

- 小野 惣一 (地区社協)

編集後記

地域の方々と顔見知りになる機会が減ってきている昨今。あしたかニュースはこの地区での様々なできごとや編集委員の思いを込めて発行しています。今年度最後の号をお届けします。じっくりと、さらっとと？ひとまず目を通していただければ幸いです。(鈴木)